

トピックス

1

100歳おめでとうございます。 大野貞さんと矢後ミツエさん

角田にお住まいの大野貞さんと中津にお住まいの矢後ミツエさんが、めでたく100歳の誕生日を迎え、山田町長からお祝いの花束や記念品などが贈られました。

大野さんは明治40年に横浜市で生まれ、野菜や魚が好きで、体調も良好。天気の良い日は庭の手入れや散歩を楽しまれるそうです。

矢後さんは明治41年に相模原市で生まれ、食べ物に好き嫌いはなく、居間でのんびり過ごすのが楽しみの一つ。現在は11人の孫と10人のひ孫がおられるそうです。

これからもますますお元気で長生きしてください。



大野貞さん



矢後ミツエさん

地

地域の伝統文化を継承 愛川高校が教育奨励賞を受賞

創造性豊かで特色ある教育活動が認められ、県立愛川高校 山田和彦校長が第23回事通信社「教育奨励賞」の努力賞を受賞しました。

同校では、地域に根差した学校づくりを目指して、平成10年度から「伝統文化」を選択科目として開講。現在、79人の生徒が300年続く県指定の無形民俗文化財「三増の獅子舞」や地元につながる「海底和紙」、「和太鼓」について、地元保存会の方々やボランティア、担当教諭の指導を受けながら学んでいます。その成果は活発に発表されており、獅子舞は一昨年、(財)地域伝統芸能活用センターの要請による北京公演や昨年、島根県で開催された全国高校総合文化祭に県代表として参加、和太鼓も県の選挙啓発キャンペーンで演奏するなど、大きな注目を集めています。

地域の伝統文化に触れることで、生徒たちにふるさとを大事にする心が育まれ、貴重な伝統文化継承の中心的存在として地域に根付き始めています。この教育奨励賞には、全国の幼稚園から高校の中から30校が選ばれました。



サークル紹介 No. 111

【社会教育施設ボランティアづくり箱】

子どもたちが自ら考えて行動できる機会を提供

「びっくり箱」は、子どもたちが、大人と触れ合い、昔ながらの遊びや物作りなどを通して、想像することの楽しさを感じてもらいながら、知識と知恵を育み、考えて行動できる自主性を培う活動をしています。

主な活動の一つに、毎年レディースプラザで開催している「わくわくジュニアフェスティバル」があります。これは、小学生から大学生までが実行委員として参加し、町内のボランティア団体も協力して作り上げる行事です。実行委員の子どもたちから出たアイデアや「やりたい」という気持ちから生まれた催し物が行われるだけでなく、ボランティアのおじいさんやおばあさんから竹の水鉄砲や缶ぼっくりなどの工作を習い、じゃんけんや負けたら肩たたきをするゲームなどをして、普段あまり接する機会のない地域の大人たちと接し、別の学校やほかの学年の子どもたちと交流を深め、一緒に楽しむ場にもなっています。

代表の土井幸子さんは、活動を通じて、子どもたちが、さまざまな場面で持っている力を存分に発揮し、考えながら行動できていると強く実感しているそうです。

今年も「わくわくジュニアフェスティバル」を開催します。実行委員の子どもたちも、昨年12月から準備を進めています。小学生の皆さんは、お友達を誘ってぜひ遊びに来てください。

第4回 わくわくジュニアフェスティバル
今年はおリンピック・イヤー。わくわくジュニアフェスティバルも空き缶積みやスリッパ飛ばし選手権などでミニ・オリンピックを開催します。工作や手芸のコーナーもあります。
日時 3月23日(日)午前10時～午後2時30分
場所 レディースプラザ
問い合わせ レディースプラザ ☎285-1600



サミんなの
サークルファイル



お知らせ
サークルファイルでは、皆さんからの投稿を募集しています。掲載希望の方は、総務課広報聴班 ☎(内線)3221まで。